

NEW EDUCATION AND TRADITION



スローガン：つなぐ伝統 築こう未来

【教育目標】確かな知性 豊かな感性 健全な心身

発行日：令和6年12月9日

発行者：校長 吉岡 大司

カレンダーも残り1枚となった12月

校長 吉岡 大司

毎朝、通勤で自転車を漕ぎ始めると、耳に当たる風が一段と冷たく感じます。

立冬が過ぎましたが、急に冷え込んだり、日差しがきつかったり、温かい日があったりの繰り返しで何か慌ただしく迎えた冬でした。しかし、今年のカレンダーも残りあと1枚となりました。大人にとっても最後のひと踏ん張りの月です。

さて、3年生は、2日(月)から始まった3者面談(進路面談)で、進路希望がほぼ決まるなどして、不安と緊張の連続の中、進路に向かいます。

そして、今年から3年生に「校長・副校長による面接練習」も始まりました。

面接の中で、私が必ず質問していることは、「あなたが中学校を卒業したら、どのような進路を考えていますか」ということです。もし「〇〇高校へ進学したい」のであれば、「それはなぜなのか」、そして、「その高校で何をやりたいのか」「その高校を卒業したら、どのような進路を考えているか」等を聞いていきます。面談の中で、生徒の話しに、耳を傾けていると、「私は人の役に立ちたいから」「自分や家族が困っているときにお世話になり助けられた職業だから」「みんなを笑顔にしたいから」「将来は〇〇になりたいのです」と、これから、「どのような生き方をしていきたいのか」なども、話してくれます。

つまり、「受験」とは、これからどのような生き方をしていくのかを自分に問い続けていく。その第一歩なのです。では、どんな生き方をすべきでしょうか。

私は、「自分が幸せになる生き方」そして「人を幸せにする生き方をしてほしい」と願います。だから、受験は、「自分のため」であり、「人のため」でもあります。

中学校を一緒に過ごした仲間と「励まし合い」「時には教え合うこと」を自分の生き方として、捉えることができる3年生に、成長することを期待しています。

そして、保護者の皆様には、生徒達にとって、人生初めての経験である「受験」を「人生の先輩」として、よきアドバイスをしていただけると幸いです。

また、2年生は、3日(火)から5日(木)まで、職場体験を実施しました。

本校の学校経営方針には、「体験活動を重視する」とあります。「聞いたことは忘れる、見たことは覚える、やったことは分かる」と言われることがあります。これは、聞かないことは聞くに及ばず、聞くことは、見ることに及ばない。また、見ることは、理解することに及ばない。しかし、理解することは、それを実践することには及ばない。したがって、学問は実践の段階にまで至って終わるのである。(『中国名言名句の辞典』小学館)のように、体験活動の大切さ、また、実践できる力を養うことの大切さを、言い表していると思います。

職場体験もその一つです。子ども達は、人間として必要なことを学び、成長しています。学んだことを知識として蓄えることだけが目的ではありません。今、求められている力は、学んだことを基に自分で考え、創造し、実践していく力です。実践の段階では、試行錯誤を繰り返し、失敗することも多いでしょう。逆に、失敗の数だけ、成長していくのかもしれない。

1年生にとっても、学校生活が様々な体験活動の一つです。そこで、体験したことを身につけるために、3つの大切なことを伝えます。

一つは、その体験の目標をしっかりもつことです。

ただ何となくやってみた。こんなことをやらされた。では何も身につけません。

次に、体の全感覚を使って、「なぜだろう、どうしてだろう」と問いかけをもって考えることが大切です。自分なりの考えをもって、体験することが、より深く自分の力となります。

最後に、様々な体験の中での人との関わりを大切にすることです。

一人では、できないことも力を合わせれば、できることがたくさんあります。力を合わせてできたことは、何よりの宝となることでしょう。

来年も教職員が一丸となり取り組んでまいります。宜しくお願いいたします。

2年職場体験（12/3～12/5）

2学年は、学校近隣の約40カ所で3日間の職場体験を実施しました。

生徒達は、普段は利用者やお客様の立場として見えていた場所で、立場を変えて生産者や販売者として商品やサービスを提供する役割についたことで、仕事への責任感や社会人として必要な資質を高めました。

労働して生活するための賃金を得ることは、自立に欠かせないことです。職場体験が終わった生徒に、「学校で授業を受けることと、労働と、どちらが大変ですか」と聞くと、生徒達のほとんどが「仕事の方が大変」と答えました。仕事をしてお金を稼ぐことの大変さに気がきました。

また、仕事に就くために必要な力は？という質問には「あいさつ・時間の管理・身だしなみ・言葉遣い・姿勢、あじみこし）が大事だと職場で教わりました」という声が上がりました。

学校生活の中で培う力が、そのまま仕事をする力の基礎となることを、生徒に気付かせてくださった職場の皆様、本当にありがとうございました。



放課後補習 始まりました

11月から放課後の30分間に、英語と数学の基礎学力向上を目的とした補習を始めました。部活動との両立を図りやすくするため、15時45分から16時15分、希望者1年生約80名、2年生約40名が熱心に学習に取り組んでいます。

1月以降も実施します。詳しくは12月中旬に配布する案内およびC o C o o配信をご覧ください。



輝く桜堤中生 表彰の記録

中学生の「税についての作文」

「税の標語」

東京税理士会向島支部長賞 杉戸 瑚々海

東京国税局間税会連合会

向島納税貯蓄組合連合会会長賞 上平 亜衣莉

佳作 池田 明壺

ソフトテニス部（女子）11/10(日) 11/17(日)

第68回 東京都中学校ソフトテニス新人大会 団体戦 第5位

宮島 舞 石川 由歩 寺西 茉彩 今村 凜

大川 結衣 鬼頭 結衣 伊勢 友音 荒井 史乃



